

地理

出題意図および正答・解答例

問題 I

地図と地理情報について理解度を問うた。メルカトル図法は、航海に適しているとされる一方で、高緯度ほど距離や面積が拡大されることに留意する必要がある。メルカトル図法による地図上では、2地点間を結ぶ直線が等角航路を表し、地球上の最短コースである大圏航路と異なり、南半球の場合、そのコースは等角航路より南側にふくらんだ曲線となる。リモートセンシングは、人工衛星や飛行機から遠く離れた地球のようすをとらえる技術であり、とくに、定期的におなじ場所を撮影できることによって天気予報などへ有効に活用されている。

エルニーニョ現象は、太平洋東部で数年に一度海面水温が高くなり、数カ月間つづく現象であり、この現象の際には、東南アジアの一部地域で、高温が続いて雨が少なく干ばつがおりやすくなる。

一方、ヒートアイランド現象は、都市の郊外に比べて都心部で島状に気温が高くなる現象であり、自動車などからの人工排熱や、熱を蓄える性質の人工構造物が要因とされている。

問1 (1) プトレマイオス (2) TO図 (TOマップ) (3) メルカトル (4) 等角

問2 (4) GNSS アメリカ合衆国のもの：GPS

※問1 (3), (4), 問2 (1), (2), (3), 問3 (1) および (2) は出題意図参照

問題Ⅱ

本問は、世界の諸地域の農業、食文化、自然環境についての基礎的知識を問うたものである。その国の食文化は、そこで行われている農牧業や水産業と大きな関係があり、さらに農牧業や水産業は、自然環境の影響を受ける。また、長い歴史の中で育まれてきた嗜好、そして宗教によっても影響されることを理解していただきたい。なお、農産物は、すべてが食料として利用されるわけではない。トウモロコシのように、食料よりも家畜飼料や工業製品に加工される量のほうが多い作物があり、それを大規模モノカルチャーで生産することで、地下水資源の枯渇や土壌の塩類化などのさまざまな環境問題が生じる場合もある。食を通して、世界の諸地域の文化と自然環境、そして環境問題についての知識を深めていただきたい。

問1 ア：穀物 イ：水産物 ウ：イモ類 エ：肉類 オ：乳製品

問2 国：i 大土地所有制の名称：ファゼンダ

問3 (1) A：c B：f C：g D：i E：b F：d
 (2)



- (4) 用途：家畜飼料、澱粉（スターチ）、甘味料、油、工業用アルコール、
燃料エタノールなど
第1位：a 第2位：e

- 問4 (1) センターピボット
(2) オガララ帯水層

- 問5 (1) Xの国：f Yの国：h

- (2) Xの名称：エスチュアリー（三角江）

Xの地形の発達： 平野を流れる勾配が緩やかな河川からの土砂供給の量が少ないため河谷の堆積が進まず、海進（海面上昇）によって海水が入り込んで入り江が形成された。

- (3) Yの名称：フィヨルド

Yの地形の発達： 氷河による侵食作用によって形成されたU字谷に海水が入り込むことで形成された。

- 問3 (3)、および問4 (3) は、出題意図参照

問題Ⅲ

本問では、オーストラリアに関する地誌的知識をベースに、気候区の大まかな分布とそれぞれの気温・降水量の月変化の特徴（問 1）、日本の上位輸出品目とその主要産地の地理的分布、とりわけ古期造山帯や安定陸塊といった大地形との関係（問 2）、ユネスコの世界遺産指定地における自然的・文化的特徴（問 3）、都市の規模別分布と自然的・歴史的な立地条件（問 4）、政治的経緯から計画的に開発され、首都機能に特化したキャンベラについての知識、また他国との比較（問 5）、新興国としてのオーストラリアの人口構成とその変化、その国際情勢や政策的背景との関連（問 6）といった総合的な観点から地理的思考力、統計や地図の読解力、文章表現力を問うた。

問 1 ア：E イ：B ウ：D エ：A オ：C

問 2 L：石炭、M：天然ガス（液化天然ガス、LNG）、N：鉄鉱石

問 3 カ：ノーザンテリトリー（北部）、キ：アボリジニー（アボリジニ、先住民）、
ク：赤（赤褐）、ケ：ウルル（エアーズロック）、コ：グレートバリアリーフ（大堡礁）、
サ：サンゴ礁

問 2（記述部分）、問 4、問 5、問 6 は、出題意図参照